

# 精神科：専門研修プログラム概要

## 1. 研修の実際について

本プログラムは年に4～6名の専攻医を採用する。採用された専攻医は、1年目大阪医科大学病院で研修をし、後の2年間で10ある関連研修施設群を常勤医師としてローテーションし、プログラムを修了する。

基幹病院となる大阪医科大学の精神神経科は、大学病院精神科として40床のベッドを有し、難治例、身体合併症例などほとんどのケースに対応している。専攻医は入院患者の主治医となり、看護、心理、リハビリテーションの各領域とチームを組み、各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気療法、クロザピン療法などの治療を柔軟に組み合わせ最善の治療を行っていく。また、週1回行われる教授回診では指導医を中心としたグループディスカッションを行い、精神医学に関する広い知識を養っていく。さらに、認知症症例、思春期症例、身体合併症、コンサルテーション・リエゾン、難治性精神疾患の特殊療法（m-ECT、クロザピン）、性同一性障害やPTSDなどの研修も可能である。また、地方会などへの定期的な発表や全国大会や国際学会への参加や発表を通じて研究・学会発表についても指導を受ける。指導医は6名である。

## 2. 関連研修施設群の病院について

関連研修施設は、近畿圏の10病院、新阿武山病院（大阪府高槻市）、藍野花園病院（大阪府高槻市）、小曽根病院（大阪府豊中市）、阪南病院（大阪府堺市）、ねやがわサナトリウム（大阪府寝屋川市）、丹比荘病院（大阪府羽曳野市）、新生会病院（大阪府松原市）、瀬田川病院（滋賀県瀬田市）、新淡路病院（兵庫県洲本市）、赤穂仁泉会病院（兵庫県赤穂市）である。これらの病院では、地域精神科医療とともに、それぞれの病院に特色のある研修をおこなう。

## 3. 専門医取得後の進路について

専門医研修と共に精神保健指定取得が可能であり、さらに大学での研究を希望する専攻医は、社会人大学院生として専門医研修を行いながら、医学博士取得を目指すことができる。

※詳細をお聞きになりたい方は、次の連絡先までご一報をお願いします。

e-mail: psy044@osaka-med.ac.jp

TEL: 072(683) 1221（内線2357）